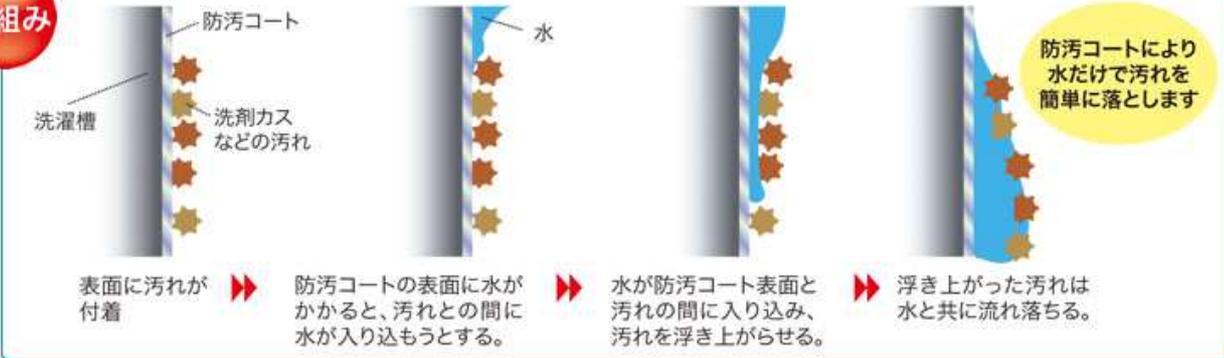


仕組み



洗濯の裏側を洗い流す際には脱水時に衣類から搾り取られた水が使用されるため、わざわざムダな水を使わないというのもうれしいところですよ。

② A+抗菌水

洗濯に使用する水を「A+抗菌水」という部分を通すことにより「銀イオン抗菌水」にしますので黒カビの発生を抑え、衣類の除菌も出来ます。

ドラムのおそうじにもこの銀イオン抗菌水が使われますので洗濯槽(ドラム)がいつもでも清潔に保たれます。

③ 振動吸収クッション

ドラム式洗濯機はドラムが斜めに配置されているため、縦型洗濯機に比べて特に脱水時の振動が大きくなります。このため洗濯物の片寄りが起きて、運転を一旦ストップし、衣類をほぐそうと注水を繰り返したりして、予定の時間通りに終わらない、といったこと



が起きます。

そのうちのZ96洗濯機には振動吸収クッションという物が搭載されています。このクッションは電磁石で堅さを自在に変化させることが出来、振動を抑えることが出来ますので、振動も少なく時間通りに洗濯を終えることが出来ます。

④ 上質乾燥モード

ドラム式洗濯機は通常乾燥機能を搭載していますが、乾燥の方式にはヒーター方式とヒートポンプ方式があります。

ヒーター方式はドライヤーで洗濯物を乾かすような感じで、ヒートポンプ方式はエアコンで

乾かす感じですよ。

ヒーター式では約85℃の熱風で乾かすので衣類へのダメージが大きくなります。一方、ヒートポンプ方式では、約60℃の乾燥温風を使うので衣類へのダメージが少なく、電気代も安く済みます。

今回ご紹介のZ96は当然ヒートポンプ方式で、さらに大風量で衣類のしわを伸ばしながら乾燥させる「上質乾燥」モードを装備しています。

以上、最新ドラム洗濯機、東芝「TW-Z96X1L」の特徴を説明させていただきました。

洗濯機は毎日使う主婦の強い味方です。いつまでも清潔に、しっかり洗えて省エネ性に優れた洗濯機をどうぞよろしくお願いたします。

価格は税込¥266,000(5/1現在)です。

